町長と語る会

日　　時　　平成29年2月18日（土）　午後7時00分～午後8時35分

場　　所　　中央公民館大講堂

役場関係者　【町長部局】

町長、副町長2名、総務課長、みらい創造室長、長寿福祉課長、みらい創造室地方創生担当係長

【教育委員会部局】

教育長、教育総務課長、教育指導主事

　　　　　　【農業委員会事務局】

　　　　　　　　農業委員会事務局長

参　加　者　１５名

【日　程】

１．開　会

２．町長あいさつ

３．議　題

（１）生涯活躍のまちについて

　　　・みらい創造室からの説明

　　　・意見交換、質疑応答

（２）湯梨浜町特定地域選択制の導入について

　　　・教育総務課からの説明

　　　・意見交換、質疑応答

（３）農業委員会からのお知らせについて

　　　・農業委員会からの説明

　　　・意見交換、質疑応答

４．その他

５．町長あいさつ

６．閉　会

|  |  |
| --- | --- |
| 総務課長教育総務課町民課みらい創造室農業委員会長寿福祉課総務課総務課町長総務課長町長総務課長参加者みらい創造室町長総務課長参加者みらい創造室参加者総務課長町長総務課長参加者町長参加者総務課長総務課長参加者町長参加者教育総務課参加者総務課長参加者教育総務課参加者 総務課長参加者教育総務課総務課長参加者教育総務課参加者総務課長総務課長参加者町長参加者町長総務課長町長参加者副町長参加者副町長総務課長参加者町長参加者総務課長町長 | 【議事の経過】平成29年2月18日（土）　午後7時00分～午後8時35分中央公民館大講堂午後7時00分　開会皆さんこんばんは。本日は週末の大変ご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。実は町長今日は来年度事業の関係で東京に出張しておりまして鳥取空港着が6時10分ということでぎりぎり間に合うのかなと思っておりましたが、若干遅れているようであります。定刻になりましたので、町長到着次第またあいさつをさせていただきたいと思いますのでただいまから町長と語る会を開会させていただきたいと思います。最初に本日の日程でございますが、一番目に生涯活躍のまちの取組の説明をさせていただきたいと思っております。二番目に湯梨浜町特定地域選択制の導入について、それから三番目に新たな農業委員会制度の説明をそれぞれさせていただきたいと思っております。一つずつ、ご質問なりご意見等承って進めていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。説明に入ります前に本日説明に参ってます職員、自己紹介をさせますのでよろしくお願いします。こんばんは、教育総務課の西原といいます。どうぞよろしくお願いします。教育総務課の浜家です。よろしくお願いします。町民課の重松と申します。よろしくお願いたします。こんばんは。みらい創造室の岩崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。おなじくみらい創造室船木です、どうぞよろしくお願いします。農業委員会事務局の杉原です。よろしくお願いいたします。長寿福祉課の竹本です。よろしくお願いいたします。はい、遅れましたけど、私本日の進行役を務めさせていただきます、総務課の蔵本です。よろしくお願いします。それでは早速ですけれども、資料の一番、生涯活躍のまちの推進につきまして、みらい創造室から説明をさせます。＜生涯活躍のまちについて：別紙参照＞はい、ここで町長到着されましたのでご挨拶申し上げます。みなさんこんばんは。遅れまして申し訳ありません。実は昨日から東京行っておりまして、市町村職員の共済組合の理事長の集まる会がありまして、それの鳥取県の理事長しているものですから代表として行ってきて、どうせ行くんだからということで、町の仕事もくっつけて、旅費はあっちに貰って仕事だけしてこようと思って。昨日はグラウンド・ゴルフが今年、2021年にワールドマスターズゲームズをうちに誘致してやるというのが決定しているのですが、今年実はそれがニュージーランドのオークランドでありましてそれをどういう体制で見学したりするかということを日本のグラウンド・ゴルフ協会に相談して、今日実はこの東郷地域の方には特に係りが深いんですけれども、来年吉本の芸人の卵ですけどまだ、追っかけは何人くらいって聞いてみたら、冗談で3人だけれども実質は2人かななんて、要するに何年か芸人やってまだ売れてない状況にある芸人さんを、さきほどの地域おこし協力隊という格好で国のお金使って湯梨浜に来てもらって。宮内で梨作りをしてもらおうと、住み込みで一年間、住み込みで梨作りをしながら情報を発信してもらおうと、その際に笑い飯っていうのを知っておられる方あるかな、吉本の芸人さんで笑い飯っていう2人のグループ。私なんかは知らなかったですけど、そんなの哲さんっていうのが何回か節目節目に来て、彼と会ってそれをまた全国の報道機関使ってしたりしてもらうというようなことで、湯梨浜のPRと梨の強化ですね。販売戦略にも多分役立つと思いますし、六次産業化にも期待できるんじゃないかと思いましたが。その一年間来てやるひとの最終面接をしに行って、向こうの人と一緒に聞いて決めてきたんですけれども、一人は筑波大学でて、筑波大学の理系の理学部かなんかを卒業して、ちょっと変わり種でしたけれども、お父さんは公務員、市役所かどっかにでとられて、吉本の芸人なるってずいぶん反対されただろうなぁって吉本の人が言ってましたけど。その人ともう一人は前橋工業という工業高校卒業して、調理師のことをずっとやったりしながらきてた人で。吉本年間3千人くらい入ってきてそれで残っていくのが100人くらいです。だからかなりの、それを残ってやっているということでこれから期待できる人ではないかと思うですけど、それで結局その、調理師の免許も持ってる人がなんか幅広くいろいろできそうな気がして、そちらに決めてきたんですけど。また、なんせ一人でこちらに来て、宮内の方はいろんな人が、農林省の人が来て泊まったりもしておりますし、そういう経験も豊富ですし、そういった点では他の集落より入りやすいかなと思ってますけど。今日は福本さんも来ておられましてどうぞよろしくお願いいたします。先生ですから、まぁそんなことがありまして。話が長くなってすいません、余計な話が。ところがその面接の時間が10時から11時ということでセットしてあったんです。ところがその、マネージャーが言ってなかったそうでして、それでその人が来られるまでに、わたし飛行機の時間間に合わなくなっちゃうし、彼も飛ばしてきてくれたようですけれども。それで飛行機一つ遅らせて、鳥取着いた時にはこの調子でいけば間に合って着けると思ってたら、ずっとぐるっと回って下りなくて、それからずいぶん滑走路からずれて左行ってると思ったら案の定よう降りなくてまたぐるーっと回って下りてきてその分だけ遅刻しました、こらえたってください。ということです。今日はさきほど岩崎室長のほうが説明してくれました生涯活躍のまちの今の検討状況、とりわけ東郷地域のほうは先行して進んでいるというのが実状でございまして、これから建物の改修等にかかって、できれば年内の早い時期に姿を現してくれるようにがんばって参りたいというふうに考えております。対岸のほうの４ヘクの活用としては、住宅については町営住宅の現状等から判断して、40戸程度作ればいいんじゃないかという目算はしたりしておりますけど、サービス付高齢者向け住宅とか想定してますけど、その需要がどのくらいあるかということを都市圏で調べたりと、これから委託してかかろうと思っております。基本計画が今年度でて、そのあと実際にそういう計画ひとつひとつ、一般の住宅もどの程度需要あるのかというようなことを調査して、それでできそうな部分だけやっていくと、だから予め土地を買ってそこにこんなもん作りますよって決めてやるんじゃなくて、作るのに必要な建物の規模はどのくらいかというのは、需要を押えながらやっていく形で進めていきたいと思っております。まちづくり株式会社を昨年12月につくりまして、皆さんに今頑張ってもらってるところです。今日は取締役の方にも来ていただいておりますけども、松崎地域では協議会みたいなものも設けて検討していただいていると。まぁやっぱりその地域の人が自分たちの地域をどう作っていくかということを基本におきながらやっていくことが長続きしていくことになるし、それから力強いことにもなると思っておりましてよろしくお願いしたいと思います。それから二つ目は特定地域選択制ということで、羽合地域の子供達が泊小学校に通えるように、そういう校区の改正といいますか、そういったことを行ったと、選択制の導入をしたということです。これに関しましても現在の状況とかそういうことを、趣旨とかをみなさんにご説明できたらということです。それから農業委員会からのお知らせということでチラシをつけておりますが、ご存知かと思いますが農業委員会制度が変わりましてこれまでの公選制から、これからは農業委員と、それから農地利用最適化推進委員と、この二つに分けまして。農業委員これまで20人おられたんですが、この1月に条例を改正いたしまして農業委員さんが12人、農地利用最適化推進委員さんが8人の20名ということで人数は変えずに、現在の農業委員長さん自体も一緒にやっていく体制が必要だからというようなことも言っておられまして、基本的には農業委員さんはやっておられる業種ごとに選ぶような恰好になろうかと思いますし、最適化推進委員さんのほうはそれを推進していくための役回りということで、後で説明すると思いますが、これは地域ごとに数を決めまして考えていくことになるというふうに、後の、面積に応じて数を決めたという恰好になっております。この3つのことについてご説明のあと、せっかくの機会ですからいろんなこと、除雪のことについても、どこの集落についても苦労されたというようなこともうかがっております。自由な意見交換をさせていただいたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。はい、それではさきほど生涯活躍のまちの説明が終わりましたので、ご質問、ご意見等承りたいと思います。いかがでしょうか。ございませんか。さきほど町長のほうからもありましたように、特に東郷地域、松崎ですとか非常に身近なところでこういった動きがはじまるということもございますので、ご意見等がございましたらばどうかよろしくお願いいたします。いかがでしょうか。松崎地域を、一つは地域を元気にすることと、それから要介護にいたらないための地域包括システム、そういったものの、福祉の仕事を織り込むということと。それから移住促進の窓口、あるいはお試し住宅を作って都市部から人を招き入れる、そういう方策と。大きくいってこの3つが松崎地域で取り組む内容ではないかというふうに思っております。なんでもけっこうです。細かいことでわからないといったようなことでも結構です。はい、どうぞ、ありがとうございます。このチラシの中でですね、アクティブシニアという言葉とですね、晩年のシニアということがあがっているですけど、これ業者のほうとしてね、例えばアクティブシニアというのは何歳から何歳くらいまでと。それからこの晩年というのは逆に何歳からというのをお聞かせ願えたらと思います。はい、ご質問がですね、アクティブシニアと晩年のシニアということのご質問でございます。いわゆる元気なうちから、本町の生涯活躍のまちの場合はですね、よく東京のほうで地方創生を語られる際にですね、病院の数が捉えられてですね、体が不自由になってからというイメージでなくてですね、若くて元気なシニア層の方、できれば本来は50代以上という想定はあるんですけれども、もうちょっと若くてもということで40代でも50代でも。そういう元気な方がアクティブシニアということでとらえておりまして、そういう自ら、体も元気ですし気持ちも元気で自分でこういったことをしたいと考えられてる、そういった方をアクティブシニアという具合に捉えていただければと思うんですけれども。晩年のシニアというのは、ある程度高齢になられた80代、90代とかそういったイメージで考えていただければと思います。特に境というのは設けておりません。アクティブシニアと晩年のシニアと、こういう書き方してるのは、例えば湯梨浜町で梨作っておられる方の平均年齢は70歳を超えておられますけれども、皆元気でやっておられると。去年梨の表彰受けられた時に80歳の同級生の3人の方が来ておられて、それで皆さん元気なのは梨作っておられるからかなって、飲んでおられる席で話たら、考えてみたらそうだのぉって笑われてて。そういう方は年齢を召し取っても、アクティブシニアと捉えてますし、そうはいってもその一方で高齢化に伴って段々体が不自由になりつつある所があったり、あるいは認知症、介護といったこと、あるいは医療といったころが必要になると、そういう世代もあるんでそこをイメージ的に分けるためにアクティブシニアと晩年のシニアという表現でさせてもらったわけです。気持ちは若い元気な人から、歳とって病気持ったり、あるいは介護が必要になってもそういう人たちでも一貫して住みやすい町を作ろうというのが主目的です。はい、その他ございませんでしょうか松崎駅前のAコープ跡地利用のやつで、箇所的に元気ぶらりん館ってなってますけど、パッと見た感じ公民館のもうちょっと多機能的なやつみたいな雰囲気で捉えればいいでしょうか。はい、こちら公民館だとですね、基本は飲食はできませんけども、当然飲食もできますし、買い物のスペースが非常に重要なポイントになろうかと思いますし、まずもって気軽に、公民館も気軽なんですが、地域の方が気軽に中に入っていただけるような施設にできたらなというところでございます。はい、わかりました。ありがとうございます。はい、ありがとうございます。無理言いまして申し訳ないです。ピンポンがこの中に卓球って触れてますけれども、今日の新聞か昨日の日経かに出てたんですけど、卓球を通じてそれを積極的に導入している自治体があって、要介護２の人が要支援２に改善していったというようなことも報告されておりまして、そういう観点と、それから卓球はもともと旧東郷強い場所でしたので、坂口先生のことがあるですし、そういったことから卓球を考えてみてはどうかというようなことで入ってるところです。その他いかがでしょう。羽衣天女伝説という本を町で、町長もこれに機関答弁として書いておられますけども実はこの羽衣伝説を基に春になると羽衣石城にもたくさんの観光客の方が来られます。ただわたし今年区長なんですけど、実はこの度の大雪で羽衣石川の川幅いっぱいに大木が倒れました。根こそぎ倒れましたので、町から写真撮りに来られてたので対策をされてればいいんですけど。川幅いっぱいですので大雨が降ればひっかかって町道も壊れるような感じになってます。本当にすぐに対処していただきたいと思います。歳を重ねた区民も町と一緒になって、周辺道路も含めた美しい景観の維持管理や、木を取り除くために草刈などがんばっておりますので、町としても見た目も悪いのですぐに倒れた倒木をなんとか除去していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。羽衣石川、県が管理している河川だと思います。ですから県のほうに要望して、以前東郷池にも彩香の裏に隣地の大きな木が倒れてそれを片付けてもらったことがありますのでまた河川の管理者のほうにちゃんと早急にやってもらうように頼んでみます。よろしくお願いします。生涯活躍のまちの関係でご質問等なければ次のほうにいかせていただいてもよろしいでしょうか。それでは資料の２番の湯梨浜町特定地域選択制の導入について教育総務課から説明をさせます。＜平成29年度湯梨浜町特定地域選択制の導入について：別紙参照＞湯梨浜町特定地域選択制の導入について説明をさせていただきました。ご質問、ご意見等ございましたらば。はい、どうぞ。宍戸と申します。よろしくお願いします。ちょっと勉強不足で、この特定地域選択制の導入についてはじめて聞いたんですけど、2つほど疑問がありまして、これは羽合小学校の児童が泊小学校に転入といいますか、通うと、これは逆はないんですか、逆はないんですね。その理由は、あくまでも泊小学校の児童数を増やすところが趣旨なんでしょうかひとつには羽合小はこの間も一億ほどかけて放課後こども教室と、それから教室を合わせた建物を増築しました。そういうふうに子供の数が増えている現状があります。もう一方では先ほど申しましたように泊小のこどもの数がどんどん減っていると。そういった中であえて言いますとやっぱり泊の住人の人は泊小学校をなくさんで欲しいという需要がありますし、それから両方増えるところと減るところがあると、それから教育の内容についても、実は羽合小学校作るときには、あんまり大きい学校になると教育上好ましくないんじゃないかという保護者の方の意見をだされた方もありました。逆に少人数学級のほうがいい教育が、それぞれ個々に応じたものができると。そのようなことを総合的に勘案して、泊小と、羽合小学校との関係で実施を考えてみたところです。ですからどこの学校に行ってもということではないです。わかりました。もう一つは、最初の質問に通ずるところですけど、資料の（3）、平成29年度の利用児童6名ということですけども、想定としてはだいたいこれくらいを想定されていましたか。例えばこれがもっと増えて20名、30名になってきた場合は、対応するのかどうかお聞かせ願いたいです。はい、受け入れは泊小学校のほうもまだまだ余裕がございますので、そのあたりについては可能な限り受け入れていければと思っております。分かりました、ありがとうございました。はい、ご質問ありがとうございました。その他、ご質問、ご意見等がございますでしょうか。はい、どうぞ。よろしくお願いします。さきほどの質問と被ってしますんですけど、これだけを見れば確かに泊小学校の児童数を少しでもというふうに思うんですけど、実際29年度6名というものの、4年生、5年生がまた2,3年すれば卒業してしまうと、いうようなことも考えたりするとですね、この制度なかなか根付きにくいのではないかと。普通にいけばですね、普通に人数が減っていくのじゃないかなというのが懸念されるところであります。小学校区を変えるはすごく難しいと思うんですけど、私合併してからずっと思っていたんですけど、いつまでも旧泊、東郷、羽合とかで物事進めようとすると、絶対しわ寄せがくると思うです。とうごうこども園昨年度開園しましたけど、結局あれも泊のほうが人数すごい少ないので、在り方を考えるときに東郷地域の枠の中で考えたら今のところがやっぱりベストになるんですけど、それを湯梨浜町全体という、一つの町ですので、旧東郷でも、舎人だ、松崎だと昔あったんですけどそれが何十年もすれば、東郷町だったというような感じで。やはり十年も経てばですね、昔の羽合、東郷、泊の枠組みをするとやっぱり無理があるのではないかと思います。それで資料の1番、すごい計画だなと思いました。ただその、小学校区はどこになるんですかね、資料1の町営住宅が仮にミドーレイクのあたりというのは。東郷小学校になるですか。東郷小学校も児童数が減ってきているので良かったのかなと、東郷から東郷団地でなくて、羽合の町営住宅が東郷にくるということで。それを考えたら東郷小学校は、もしかしたら児童数の減少を抑えれるかなと思うんですけど、同じような計画を、泊地域でもやはり定住しなければどんどん減っていくばかりだと思いますので、素人な考えかもしれませんけど、この制度うまくいくかなというところに少し不安といいますか、そういうものがございます。以上です。教育委員会として考えておりますのは、子供たちにより良い教育環境が提供できればと考えております。羽合地域のこども達にとっては数が多いというのもありましてですね、一人一人の個性・特性に応じてですね、自分はできれば少人数のほうがいいと希望する子供達もいるんですよね。そういう子供達に、保護者の方も我が子を見ながらそのほうがいいだろうと、子供達に泊小学校での学びを可能にする、そういう環境を提供したいということでの制度です。受け入れは泊小学校にも新しい仲間が増えることによって学校に活性化が生まれてくるようなこともござまして。双方の意見を聞きながらこの制度を今考えているというところです。ご理解いただければと思います。はい、分かりました。併せて小学校のみならず、泊もたしかこども園が二つ、両方とも人数がすごい少ないんですけど、考え方によれば、この制度羽合小学校から泊小学校に行かせたいなとなれば、親としてはいきなり小学校から行かせるより、ちょっと送り迎えがえらいけど、泊小学校に通わせたいからこども園のころから泊のほうに預けたい保護者さんもあるかもしれませんので。一概には不安ばかりではないんですけど、この制度が浸透してどんどん泊に、たとえばお隣の子が泊に行ったけ一緒に行こうとかみたいな感じでどんどん浸透していけばいいなと思っております。以上です。ありがとうございます。ではそちらの方どうぞ。さきほどの方の意見を聞いて、私もいい考えだなって、聞いてよかったと思います。というのは合併して10年以上経っていて、羽合・泊・東郷っていうね、地域性は消えていくんじゃないかなぁと思いました。でね、私は泊小学校が一番好きなんです個人的にね、議会だより読んだらね、少人数クラスの良さって書いてあったので、それだけでは弱いなって思ったんですけど今この資料2を見させていただいたら、泊小学校の教育目標、教育理念というのがしっかりあって。私もすごく好きでね、泊小学校の自然環境、以前すばらしい教育発表をされてたのを私聞いたことがあって、自然を利用してね、だから良さっていうのか魅力っていうのをね、もっと強く発信したらもしかしたら町外からも来るかもしれないし、ものすごく特色を持ったすばらしい学校になるような気がするんです。失礼な言い方かもしれないけど、羽合小学校の平野のペロンとしたような学校よりも、ずっと自然環境たっぷりのね、私は自分のこどももう一人生まれたら泊小学校にやりたいくらい素敵な学校だなって思いました。本当に眺めはいいし、自然はたっぷり、なんていうか足腰は鍛えられる、体験はしっかりできる、それからコミュニティですか。私わかば保育園にいたことがあるですけど、地域性っていうのがすごくいいところがありますしね、それで私よくイメージができないんですけど、コミュニティースクールっていうのをちょっとここに書いてあったものでね、そんなモデル校みたいなこともできるんじゃないかなって。だからこの魅力をね、発信していってね、この資料を見ただけじゃちょっと弱いなと思う。本当になんか発信していったらなんか子供さんが集まるんじゃないかなって私は可能性を感じるんですよね。というのは長くなるんですけど、子育てでも二極化してまして、本当に子供に良い教育環境与えてやりたいっていう親御さんがけっこういるんです。また反面、自分の利便性を考えてこどもより自分の都合だけ考えて子育てする親御さんっていうのもいるし。極端なこともあるんですけどね、やっぱり本当に良いものを与えたい、本物を与えたいって親御さんもけっこう若い人の中にたくさんおりますのでね、やっぱりここがいいわっていうね、魅力を発信したら素晴らしい学校になると思うんですよ、私泊は大好きなんです。そのことを言いたいなぁって思うのと、それとやっぱりこども園が小規模になっておりますでしょ。それで私が極端な考えかもしれないけど、例えばこども園から小学校に連携できるような、そういった特色ある学校とかね、難しい部分もあると思うけどそういうこともなんか考えたり。私はこどもが少ないっていうマイナスイメージじゃなくてそれを逆手にとった考え方っていうことをね、思いました。がんばってほしいなと思います。すごい子供もたくさん、すばらしい学校にしてほしいなって思っております。ありがとうございます。情報発信についてはホームページの充実等努めてまいりたいというふうに思っております。それからコミュニティースクールの話がございましたけども、新年度からそこのところ特に力を入れていきたいと思っております。地域とともに歩む学校、そういうものを目指していきたいと考えております。はい、貴重なご意見ありがとうございました。もう一方、はいどうぞ。この特定地域選択制とは全然関係ないんですけども、泊小学校、給食を学校で作っているということで。今中学校建てているところに給食センターも建つと思うんですけど、それができてもこれは継続でいかれるかどうか。泊小学校の自校給食、継続したいと考えております。分かりました、ありがとうございます。一極集中もいいですけど、なんかあった時に、この前の地震で倉吉は給食全部ストップしています。ある程度、集中と分散といろんなことを考えてもらえたらと思います。はい、貴重なご助言ありがとうございました。はい、それではそろそろ3番目のほうに行かせていただいてもよろしいでしょうか。はい、では3番目の新たな農業委員会制度につきまして農業委員会の事務局長が説明をいたします。＜農業委員会制度について：別紙参照＞はい、農業委員会の新制度について説明がありました。ご参加の皆様でご質問等ございましたら承りたいと思いますがいかがでしょうか。はい、ないようでございますので、それでは一番目の生涯活躍のまち、それから二番目の湯梨浜町特定地域選択制、それから農業委員会の只今の新制度、3つ通しましてご質問受けたいと思いますがいかがでしょうか。一番二番三番いずれでも結構です。よろしいでしょうかね、はい、ないようですけれども、職員のほう片づけで残っておりますので聞いてみたいことがありましたらば後程お願いします。せっかくの機会でございますので、この3つのテーマ以外のことで何かご意見やご要望や行政に対する要望等ございましたらば承りたいと思いますがいかがでしょうか。はい、再びよろしくお願いします。この会に出席させていただいたのは、この度の大雪に関する除雪のことでございます。子どもがとうごうこども園でお世話になってまして、この度の雪は本当に大変でして、日曜日にこども園の先生方が除雪に出られるということで、なんとか保護者皆様もお力をということで約20人ほど、大方3時間ほどかけてですね、ようやく車一台ロータリーで回せるくらいと先生方の駐車場と羽衣会館の駐車場の約３分の１を先生方と都合のつく保護者でしたわけなんですけど、とてもえらかったです。正直なところ日曜日というのもありまして、まぁこれ余談になるですけど私実は金曜日、土曜日とJRで青谷駅で停まった列車の中で閉じ込められてまして、約22時間青谷駅に滞在して戻って、休んで次の日朝から家の雪かきをしようかなと思ってたですけどえらくて寝てて、その時にちょうどメールがきまして、それで昼1時から保護者の皆様をってことで、当然除雪しなければ次の日我が子を預けれないという思いもありましたので行かしてもらいましたけど。その時思ったのがですね、目の前の町道は空いているわけでして、素人の考えかもしれませんけど、町道空けるついでにですね、広い駐車場にも除雪機寄ってもらえないかなと思いました。道路で1メーター雪が積もれば当然駐車場も1メーター雪が積もるわけですし。除雪にかかる体制っていうのが町道でしたら何センチ積もったらとかあるかと思います。たぶんこども園も園長先生や先生方が役場にお願いされてから、子育て支援課ですかね、担当課のほうで協議されてこれは大変だっていうことで翌日にはすぐ除雪していただいたんですけど、やはり1日がすごく大きいもので、やはり町道に除雪が入るくらいでしたら、こども園広い駐車場ですので。人間でするには無理があるかなと思いまして、そこをなんとか、煩わしいと言ったら申し訳ないんですけど園長先生がお願いしますって要望があってそれから協議してもらって、それから除雪では１日が経ってしまいますので、そこをなんとかしていただけないものかなという思いがあります。羽合会場のほうでも同じとうごうこども園のことで発言されたと思うですけど、3月総会開きまして、来年度の保護者会長さんでして、私の隣にいる方が今年度の保護者会長さんでして、昨年度私しておりまして、本当は月曜日保護者会長3人で来てちょっとこの思いをぶつけようってことで話をしたんですけど、その中でどういう答弁があったのか聞いたところ、大きなこども園には除雪機があるからそれで対応していただきたいと答弁があったようなんですけど、実際とうごうこども園にある除雪機、幅が約50センチかそこらしかかけない除雪機でして、私思ったのがむしろ50センチ程度であれば大きいこども園に置くのではなく、割と駐車場が小さいこども園になんとかこれでお願いします、例えばハワイとかとうごうとかたじりも広いですかね、長瀬も広いと思うですけど、そういう広い駐車場があるこども園には必ず広い町道がありそこは確実に除雪がとおるわけですので、その時に駐車場しっかりかいてくれとまでは言えませんけど、何回か通っていただくだけでも違うので、もう少し柔軟といいますか、建設水道課と子育て支援課と課は違うと思うですけどその辺を横の連携で少しでも柔軟に対応していただけないものかなと思います。この度の雪は特に厳しかったと、数回にわたって降って、かくのも一回じゃ当然ダメで。それで業者も役場のほうも徹夜してかいたりとかそういう状態で非常に大変な状況でした。基本的にこども園の構内は除雪機を置いて自前でやってもらうという建前でしてもらってるですけれども、今おっしゃったように機械が、大きい駐車場のところも小さい駐車場のところも同じであるというのが現状であるならば、そういったことは改善していく必要があると思っております。この度の除雪について私ひとつは、こども園は中や外のことをどうするかということと、それからもう一つは集落内の、いわゆる中の道ですね、雪かきをどうするかという、この二つが課題としてあるなと思っております。現在のままでいけばおそらく業者さんの手はなかなかこの度の大雪だと道路とか幹線かくのに手いっぱいで、まして今回は渋滞の中に除雪車が巻き込まれて一部の地域では遅れたというのがありました。そういうこともあって大変なんですけども、そういうことがあった時により、保護者の方に過度な負担がかかったりすることがないように、機械をそろえたり、大きいものも多少入れていったりして補強していくことは力入れないけんでないかなと思ったところでして、一回この間から除雪のことは点検してみようと、今回のはいい教訓だった部分もいっぱいあるんでと思ってますので。その中の一つの課題としてとらえてみたいと思います。はい、分かりました。それでふと思ったのがですね、この雪で町内いろんなところで停電等もあったと思いますし、ただ、はわいとかとうごうとか新しいこども園でしたら、昼間はソーラーパネルで充電したり夜は夜間電力充電したり、オール電化のキッチン対応したようなものも備わってますので、もし停電が長引いたりするようになればですね、そういうものも大変役に立ってきますので、設備が整っているところははやく開けたほうがいいと思うのと、あと私岩美町のほうに出向してまして、岩美町大変広いところで町道もすごい路線があるんですけど、町もおおきな除雪機3、4台備わってますけど町の職員さんにですね除雪機運転できるような免許をとってもらって可能な限り町道は町職員で対応しております。私それ見てびっくりして大変ですねって話したら実際業者に委託費を払って除雪やってもらうより職員に免許をとらせて役場が機械買ってしたほうが全体的に安くなると、そういうことも言っておられまして、そこまで備えることはないと思うんですけど、例えばそういうところにゆとりがあれば、そういうことも視野に入れていただければなというのが一点です。もう一点あります。とうごうこども園でも広い園庭ということで年に2回除草作業を保護者のほうでしてるんですけど、園庭で出た草の処分場所に非常に困りました。それでなんとか町のほうに算段していただけませんかと役場に電話したところですね、あたりまえのような回答いただきまして、気持ちはわかりますけど、それを受け入れてしますとすべての園を対応しなくてはなりませんので、近隣の地域の方にご協力をお願いしてくださいと。そういう回答になるんだろうなと分かってましたけど、実際に草を自由に捨ててくださいという人を探すのも大変ですし、私去年今年といろんな方に電話して、軽トラックで何台くらいあるけちょっと捨てさせてぇなとかいろいろお願いはしたところですけど、そういうところにも目を向けていただければと思いまして。小学校のPTAのほうは去年まではさくら小学校のプールの横に捨てに行ってたんですけどそこがダメということで確か今年からはシルバー人材のほうで、それは確かPTAのほうで教育総務課のほうに陳情に行って、予算を見てもらうということで。その話をしたところおそらくとうごうこども園もこの間先生に確認させてもらったら来年は場所も大変だけ園の事務費も予算計上してもらうように要望あげてみたと園長先生言っておられましたので、いま要望した段階なのでまだわかりませんけども、園長先生言っておられましたけど、その部分は必ず予算要望通していただきたいなという気持ちもありますのでこれも併せてお願いということでよろしくお願いします。まつざきこども園はどうですか、よけ出るですかね。今言われたように小学校は刈りとってもらって集めてもらっておいてそれをシルバーに預かってもらうようにしました。泊小学校なんかもそうですけど、普段から校長先生ヒーヒー言いながらやっておられるけれども、とても手のまわる状況じゃないということがあってそういうことをやっております。保育所についても全体を調査させまして。子育て支援課から上がってきた分はつけてます。自分まで上げてなかったけ何も聞いてないと思ってしゃべりおったら来年度予算ではつけているようですので、その分は安心してください。我が家はこの3月で卒園しますので、私個人からしたら除雪のことも除草のことも来年度からは全く関係ないところですけど、9年にわたりですね、たいへんよくしていただきましたので最後に何か言っときたいなという、さきほどの話聞いてとりあえず3月24日安心して卒園できると思いましたので、除雪のことは引き続きご検討よろしくお願いします。除雪のことで一つだけ。町が実施する除雪は生活道を中心にやっておりますのでいろんな方がおられるんですよね。途中の角までやってほしい、家の玄関のところまであと1メートルなのにそこで停まってしまう、たくさんそういう方がいらっしゃいます。それぞれの要望を受けるのは大事なことなんですけれども、それがなかなかできない、一つ一つの要望は聞けないということもご理解してください。それで毎年12月の初め頃に各課全体の対処の仕方なりを検討する会をもっているんですけど、たまたま今年は地震の関係でそれができなかったんです。1月に一回雪が降ったあとに、検討会をしたときに、各課自分たちが所轄している所の対応なりは自分たちでチェックして、そこで問題点があった時どうするかという議論はやっております。確かに前回羽合の時、除雪機の話もありました。除雪機が壊れていたというのもお聞きしております。なので当然人力になってしまいまして、そこの段階の前に、やはり町の職員ですけども、私たちがキチンとメンテナンスをしながら動ける状態にしとくというのはまず一番最初に大事だったのかなと。こちらのほうが申し訳なかったということでお詫び申し上げたいと思います。1月の分はですね、たまたまこども園の保護者の中に建設屋さんがおられて、全くのご厚意で駐車場かいていただけたというのがありまして、ただ本当かどうか分からないですけど建設屋さんが言っていいとか言ったらいけないとかそういうのがあるかと思いますので、どういうところまで柔軟にというか、なかなか難しいと思うですけど、生活道最優先というのもわかりますし、ただこども園、停電なった時に対応できる設備がありますので、柔軟によろしくお願いします。分かりましたって、言い方なんですけれども、やはり基本的には自分たちの施設のポジションはある程度自分たちでやっていかないと。それを途中でもっていってしまいますと生活道の雪かきをまっているところもありますので。たとえばそれがすべて終わった後は建設水道課で点検をやっております。ただきっとこども園はそうやっていきますと間に合わないのかなと。当然同じときに皆さんこども園のほうにお子さんを預けに来られますので、となるとどうするかというと、行政の中あるいは保護者の皆さんと一緒に議論することがまず最初に大事なのかなというふうに思います。だいぶ時間も経過しましたけれども、もうお一方だけなにかありましたら承りたいと思いますが、はい、どうぞ去年の地震後の対応なんですけれども、私羽衣石なんですけれども、山から大きな石が落ちてきまして、それで民家の数メートル上で直径10センチくらいの木にひっかかって止まったわけですけど、10月27日に役場に出かけていきまして、非常に危険な状態なんでなんとかしてほしいということを話したら、その場ではとにかく、山の石だとか、とにかくらちがあかなくてですね、例えば区のほうでつついたらなんか補助でも出るのかということで話して帰ったら、ちょっとそれは県に聞いてみないと分からないという返事だったものでその日はあきらめて帰ったです。それで晩8時ごろにですね、役場から電話がかかってきて、今日の件については役場で処理しますと電話がかかってきましてね、私県に確認して結論が分かったから電話かけてきたと思ったですけれども、役場のほうで処理しますという返事だったもので、最初私が行った時と対応が違って手のひらかえしたような話ですなぁという話したらね、まぁまぁまぁいいほうに転んだだけということでね、それ以上私もええ方に転んだもんだけ言わなかったです。それでその内容をですね、明日業者を連れていくけ、その石の所に案内してやということで、あくる日28日9時ごろに業者さんを連れて役場の建設水道課の方来られたです。それで石のところ案内して、業者さんも見られてこれは危ないなと、すぐ処理するけということでね、ちょっと平たいところまで石を引っ張ってもらったです。今ワイヤーで大きな木に括り付けて、振動があっても転がってこないように処理してもらったです。それでその時にですね、まだ上のほうに転んできている石があるということでそれも見てもらおうということで一緒に連れだって上に行きかけたら、もうえらいけあの石だけにしようやということでね、途中まで上がりかけてたですけど、私もその誘惑に負けてですね、その石だけの処理で終わってそれ以降なんの話もないもんで、私去年区長してましたし、新しい区長にですね、その旨伝えて、新しい区長と役員さんと私とで1月の頭にですね、現場見てもらってこんな状態だと、役場行って話せいやということで、1月末に新区長が役場に行ったですけど、また同じ話でですね、山の石だけなぁと。私からしてみたらこの間のような大きい地震はこないとは思うけど、その処理についてどういう方向で進めてもらえるんかいなと、すぐには返事できんにしても話持ち帰っていただきたいなと思っておりますんで。基本的になかなか手が出せない部分だったということもあったんだろうと思いますけど、ちゃんとそのあたりの事情を説明しておくべきですよね。私どもの姿勢としては、例えば県のほうは後になってから人家に影響が及ぶと、そこが崩れて落ちたりすると、というのに対する支援制度はずいぶん後になってから設けたりしたんです。ですけど今うかがった範囲はそれより前のことですから、役場もできるだけ住民本位で考えてやろうでってことは言ってますので、そういう観点からさせてもらったことだと思いますけど、よく調べてまた報告します。はい、よろしくお願いします。はい、まだまだご意見・ご要望あるかと思いますけれどもそろそろ終わりにさせていただこうかと思います。職員少しの間ですけれども残っておりますので何かありましたらばよろしくお願いします。では最後に町長からご挨拶申し上げます。どうもありがとうございました。なかなか出にくい日にありがとうございます。一つだけお願いしたいと思います。3月5日の日に鳥大名誉教授の西田先生が地震に関する講演をここでやってもらうようにしております。ちょうど地震が発生した次の日に予定してたものが、地震が起こってできなかったということで、それをこの度またやっていただくことにしたものですので、ぜひまた声かけあって聞きにきていただければと思います。西田先生は一昨年以来、群発傾向の地震が続いているときに、町長さんそろそろ来るかもしれませんというふうに仰られてたこともありまして、湯梨浜のことを見守ってもらってたというようなこともありますのでよろしくお願いいたします。今日は本当にありがとうございました。また皆さんの意見を聞かせてください。＜終了＞ |